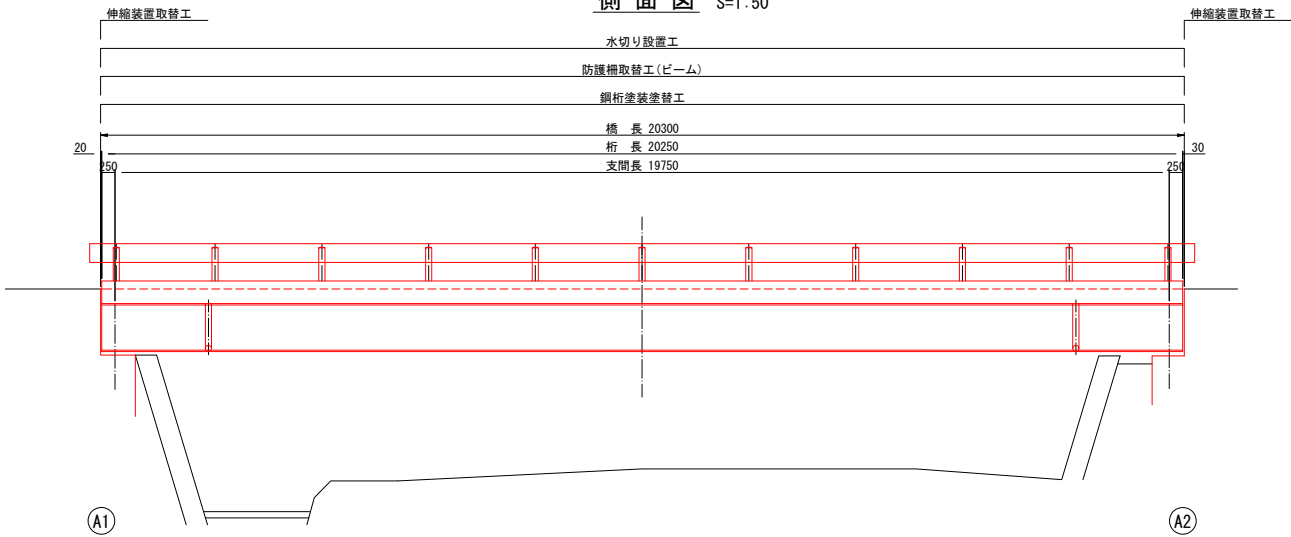
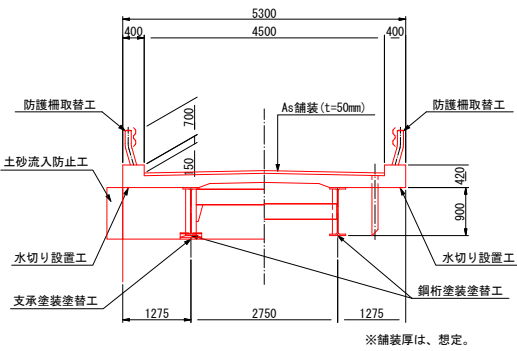


風呂谷橋 対策一般図

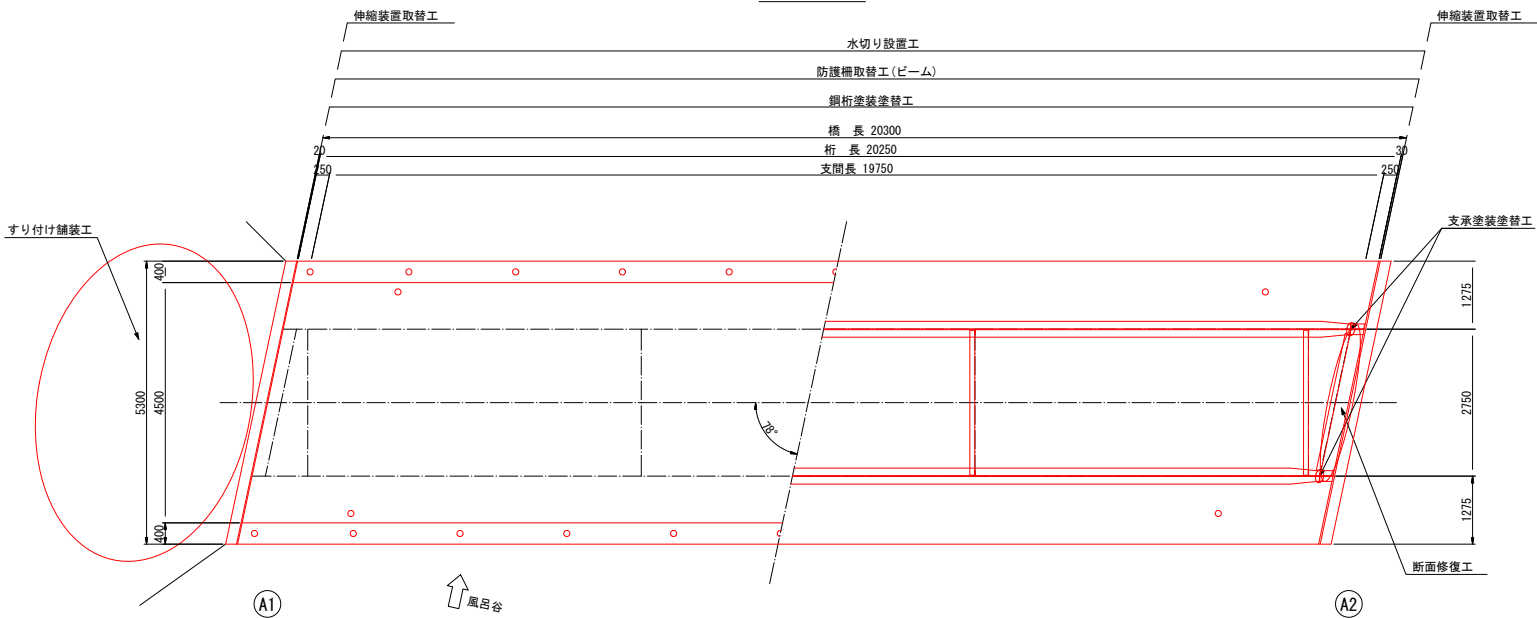
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



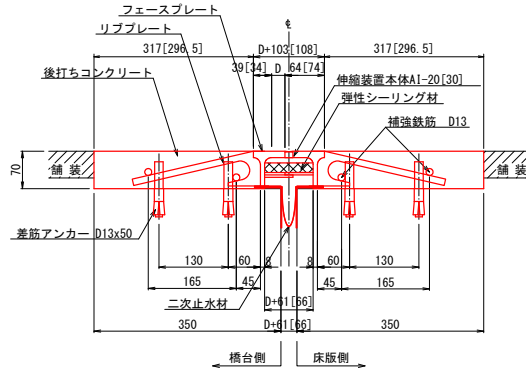
風呂谷橋 対策工一覧表

対策工	備考
伸縮装置取替工	
鋼桁塗装塗替工	
支承塗装塗替工	
水切り設置工	
断面修復工	
防護柵取替工	ビーム
すり付け舗装工	
土砂流入防止工	

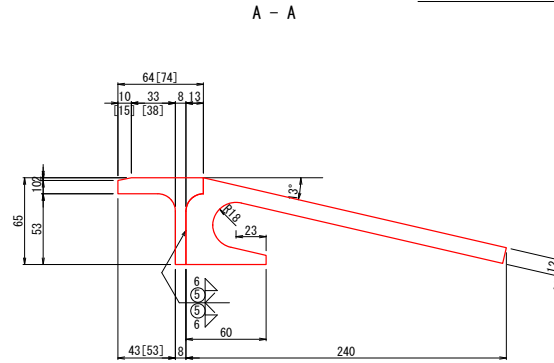
業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋 対策一般図
縮尺	図示 図面番号 10葉之内 1
会社名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事務所名	海津市

風呂谷橋伸縮装置取替・地覆シール工詳細図

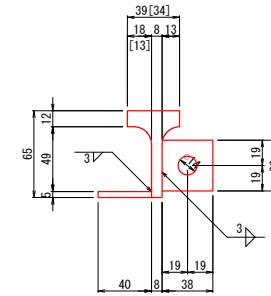
断面図 S=1:5



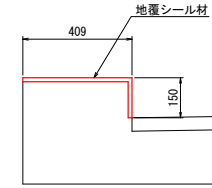
伸縮部断面図 S=1:2



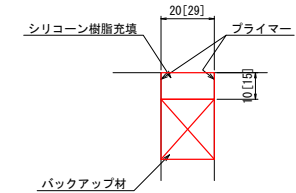
B-B



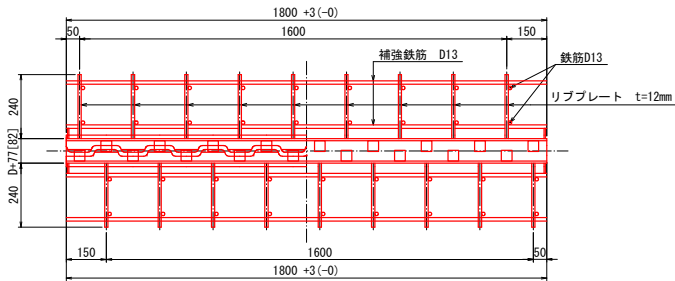
地覆シール材詳細図 S=1:10



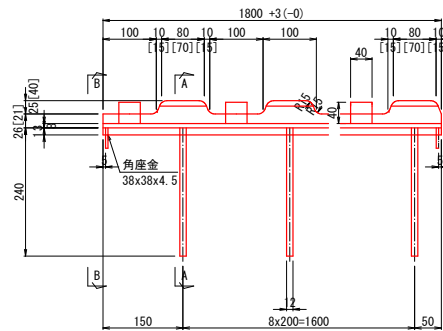
地覆シール材・二次止水材断面図



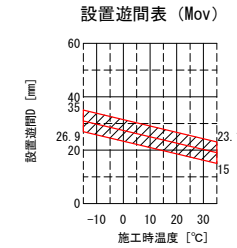
伸縮部平面図 S=1:10



フェースプレート詳細図 S=1:5



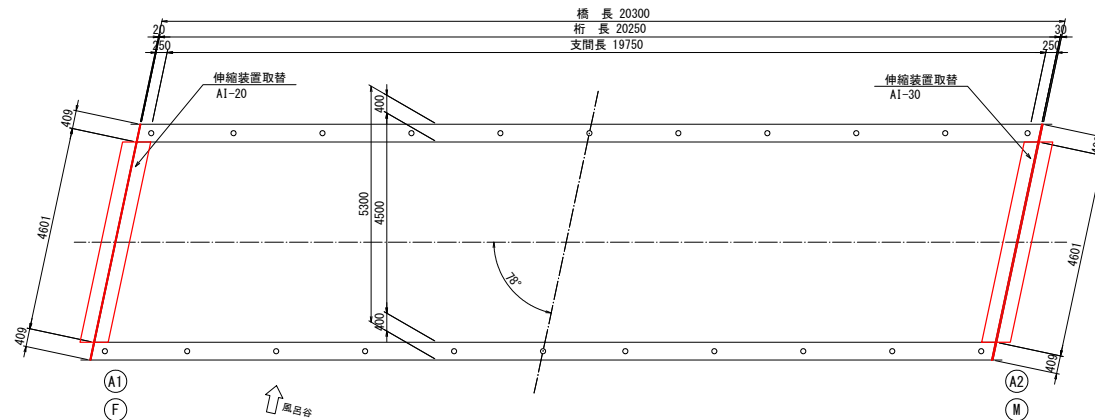
平面図 S=1:100



寸法表 (mm)			
型 式	許容伸縮量	フィンガー遊間 D	ウェブ遊間 D+61 [66]
AI-20 [30]	20 [30]	5~25 [10~40]	66~86 [76~106]

※ 設置遊間は施工時の温度を考慮して決定すること。

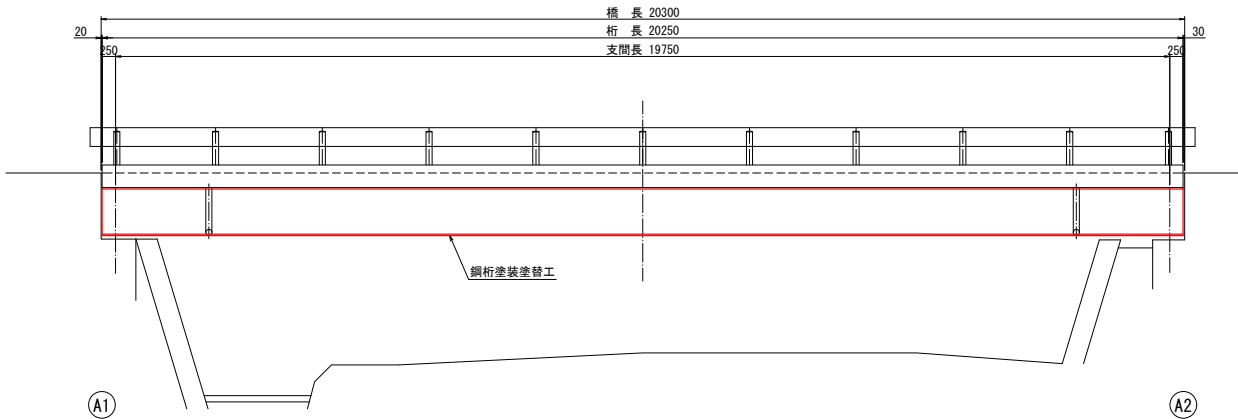
- 注) 1. []内はMov (A2橋台側)を示す。
2. 主部材は、H-200x200x8x12とする。
3. 特記なき鋼材の鋼種はSS400とする。
4. 長さ方向のそり寸法の許容差は製作長当たり±1.5mmとする。
5. 特記なき箇所の寸法許容差は±2.0mmとする。
6. 弾性シーリング材にはフィンガーシールを使用する。
7. 弾性シーリング材は、ウェブ遊間81 [96]mmにて流し込み、その高さはフェイスプレート下端から10mmの位置までとする。
8. フェースプレートの製品相互を連結する場合の継手形状はV形グループ溶接 (ルート間隔0mm、開先深さ6mm、開先角度60°)とし、表面はグラインダー等により平滑に仕上げる。
9. 表面塗装は、長ばく形エッチングプライマーとする。



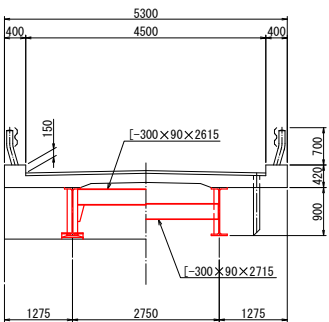
業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋伸縮装置取替・地覆シール工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	10 業之内 2
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事 務 所 名	海 津 市

風呂谷橋 塗装塗替工詳細図(1)

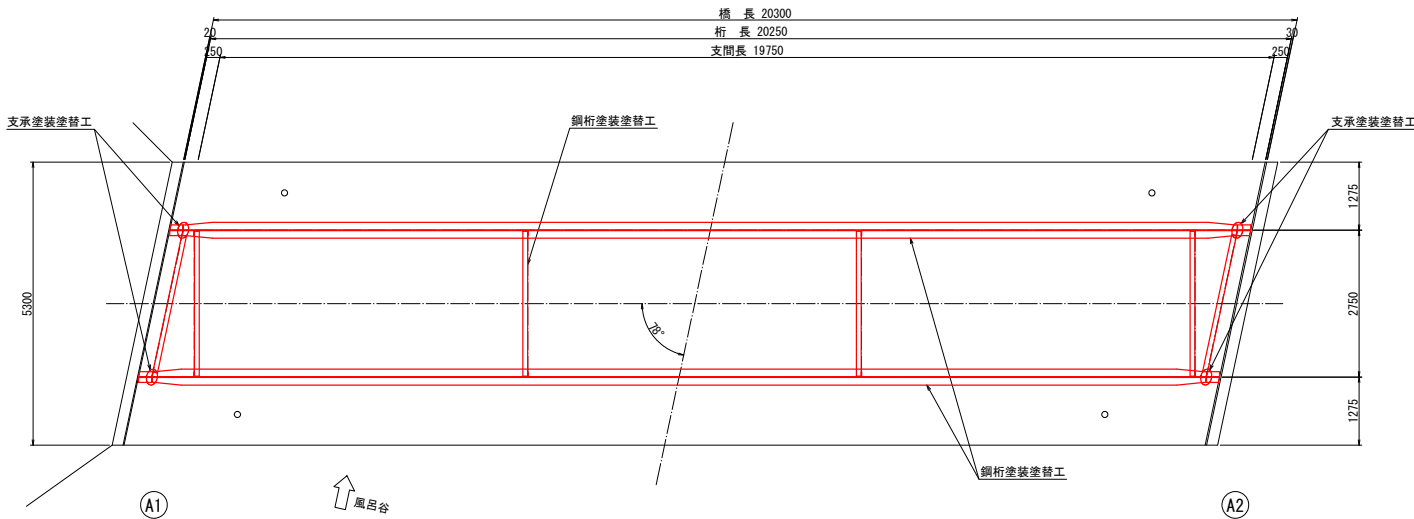
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



塗膜除去	循環式コロゲン工法
------	-----------

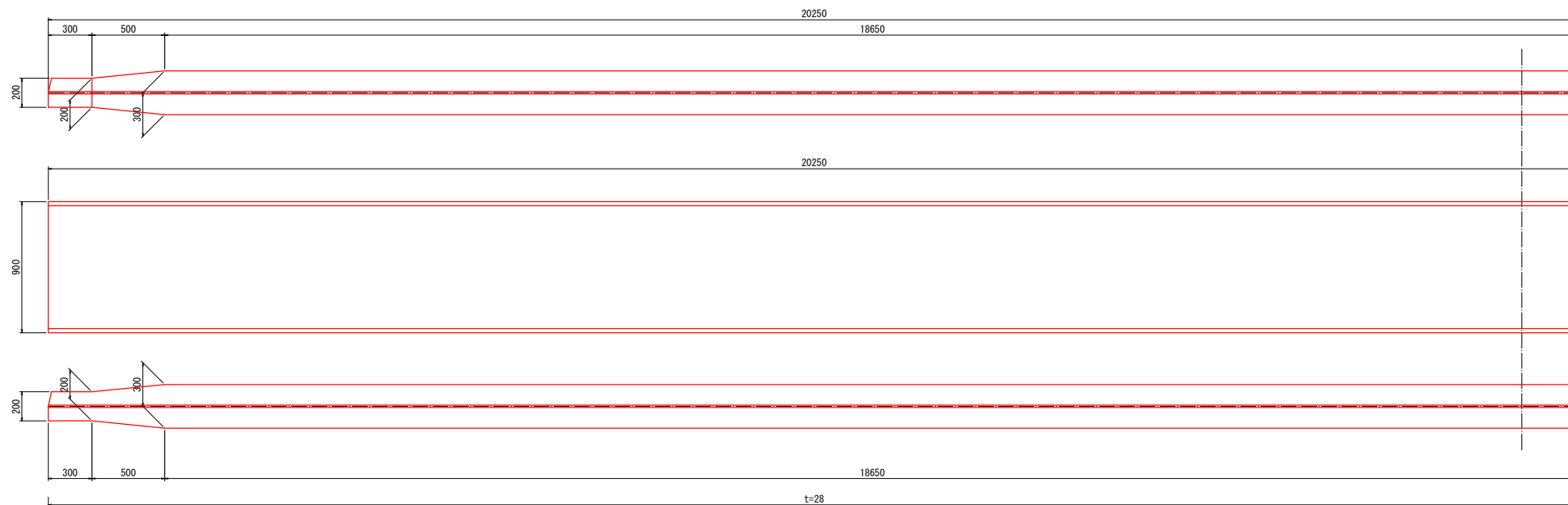
塗装仕様(Rc-1)(スプレー)			
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

業務名/工事名	令和7年度 建第43号 風呂谷橋補修工事		
路線・河川名等	市道 海津33006号線		
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内		
図面の種類	風呂谷橋 塗装塗替工詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	10葉之内 3
会社名	(公財) 岐阜県建設研究センター		
事務所名	海津市		

注) 現地再計測の上、施工を行うこと。

風呂谷橋 塗装塗替工詳細図(2)

主 桁 S=1:15

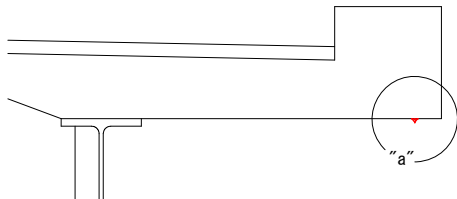


業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋 塗装塗装工詳細図(2)
縮 尺	図 示 図面番号 10 葉之内 4
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事務所名	海 津 市

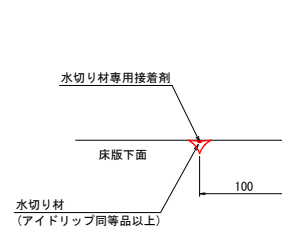
注) 現地再計測の上、施工を行うこと。

桃山橋 水切り設置工詳細図

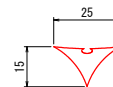
水切り材取付詳細図 S=1:10



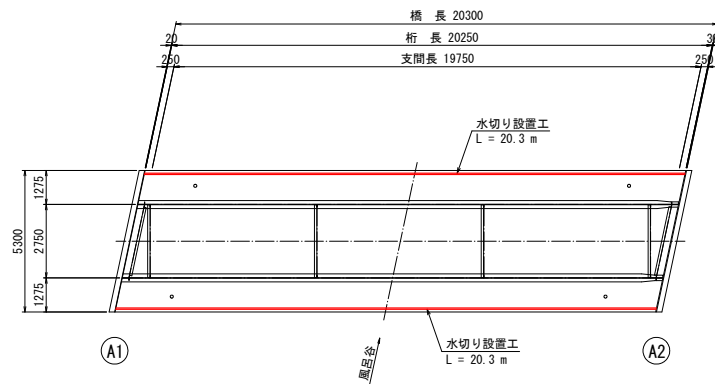
"a" 部 詳細 S=1:3



水切り材形状図 S=1:1



平面图 S=1:100

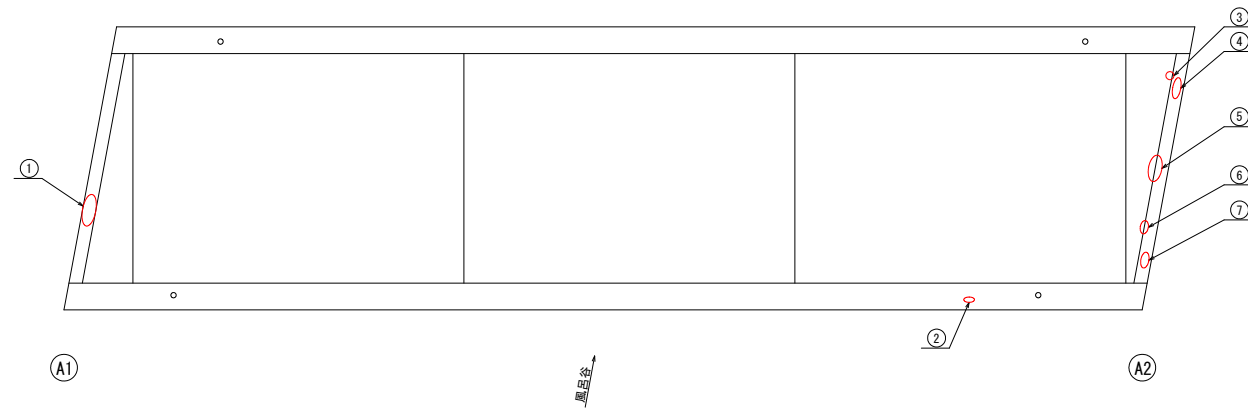


注) 施工時は、現地寸法を確認のこと。

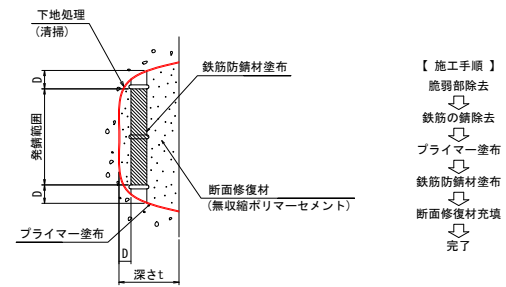
業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋橋修工事		
路線・河川名等	市道 海津33006号線		
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内		
図面の種類	風呂谷橋 水切り設置工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	10 葉之内 5
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター		
事務所名	海 津 市		

風呂谷橋 断面修復工詳細図 S=1:50

桁 下 面



断面修復詳細図



断面修復工集計表

番号	損傷の種類	部 材 名	幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)	箇所	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	剥離・鉄筋露出	床版	0.25	0.60	0.05	1	0.150	0.0075
②	剥離・鉄筋露出	床版	0.10	0.10	0.05	1	0.010	0.0005
③	うき	床版	0.15	0.15	0.05	1	0.023	0.0012
④	剥離・鉄筋露出	床版	0.40	0.15	0.05	1	0.060	0.0030
⑤	うき	床版	0.25	0.50	0.05	1	0.125	0.0063
⑥	うき	床版	0.15	0.25	0.05	1	0.038	0.0019
⑦	剥離・鉄筋露出	床版	0.15	0.10	0.05	3	0.045	0.0023
合計							0.451	0.0227

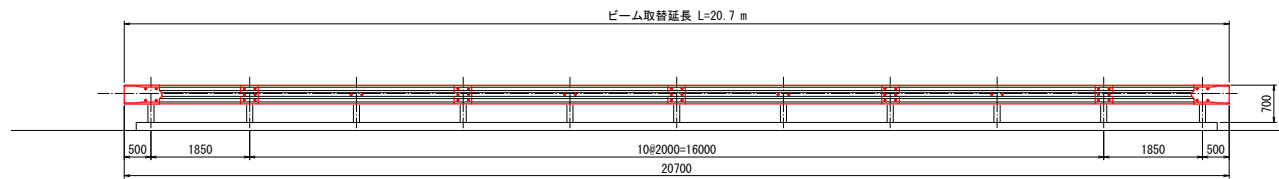
- 注) 1. 剥離 及び 浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、
(鉄筋がある場合は発錆範囲+D(鉄筋径)まではり出す)
2. 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

- 注) 1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. 劣化の進行や新たな損傷等が確認された場合は、監督員との協議により、
必要に応じて、補修検討を行うこと。

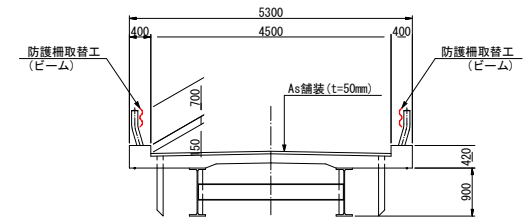
業務名/工事名	令和7年度 建第43号 風呂谷橋補修工事		
路線・河川名等	市道 海津33006号線		
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内		
図面の種類	風呂谷橋 断面修復工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	10 葉之内 6
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター		
事務所名	海 津 市		

風呂谷橋 防護柵取替工詳細図

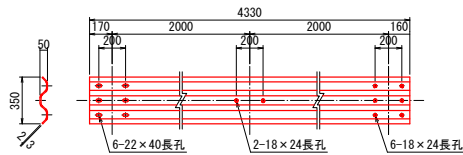
側面図 S=1:50



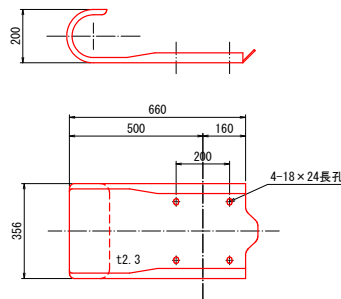
断面図 S=1:50



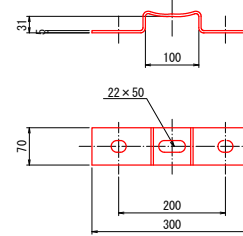
ビーム S=1:20



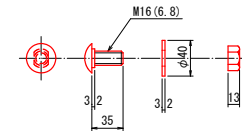
巻袖ビーム S=1:10



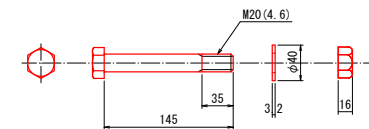
ブラケット S=1:5



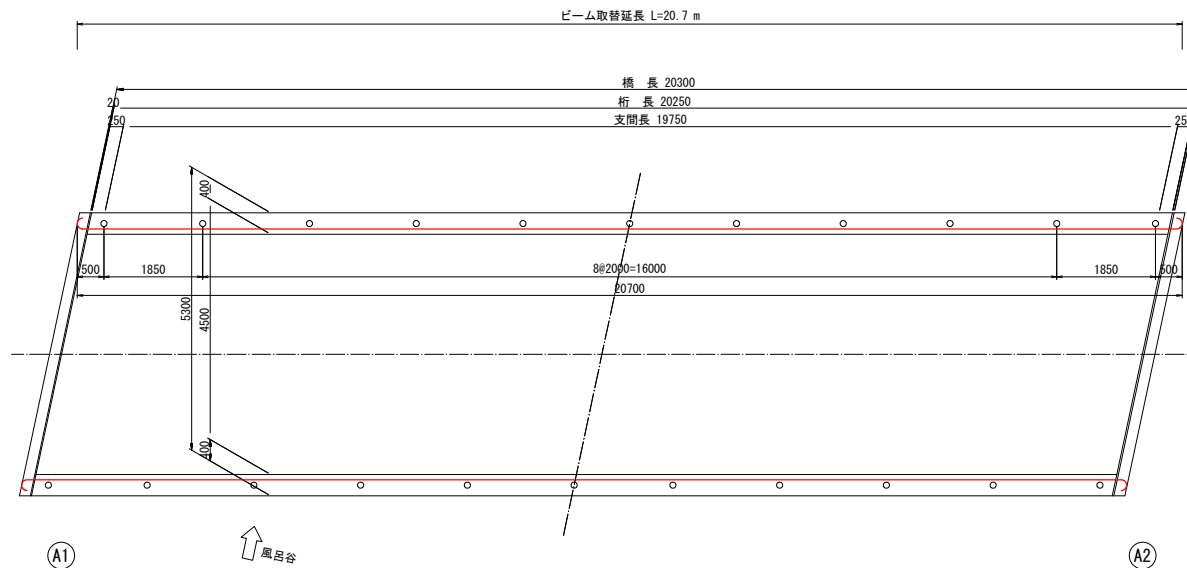
笠木・ビーム取付用ボルト S=1:3



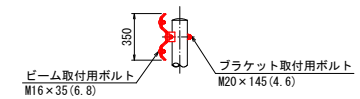
ブラケット取付用ボルト S=1:3



平面図 S=1:50



取付詳細図 S=1:20

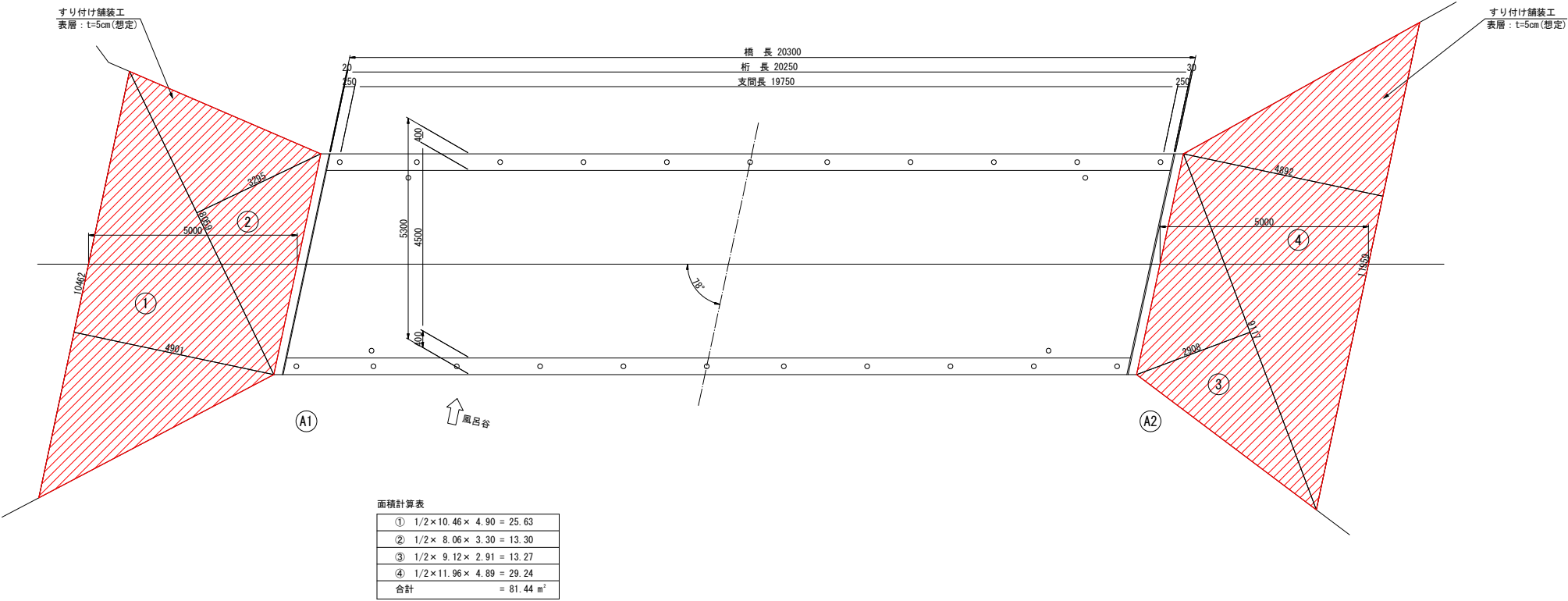


- ※注記
- 施工の際には再度寸法計測を実施し、寸法を決定すること。
 - ビームの取替について、既設との整合を図ること。

業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋 防護柵取替工詳細図
縮 尺	図 示 図面番号 10葉之内 7
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事 務 所 名	海 津 市

風呂谷橋 すり付け舗装工詳細図

平面図 S=1:50



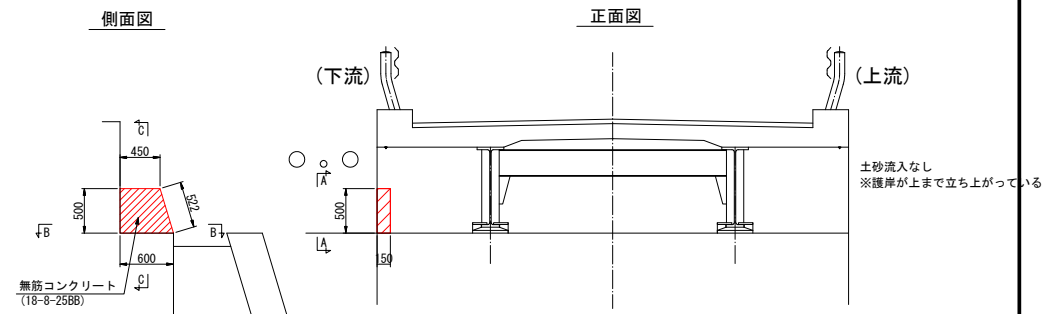
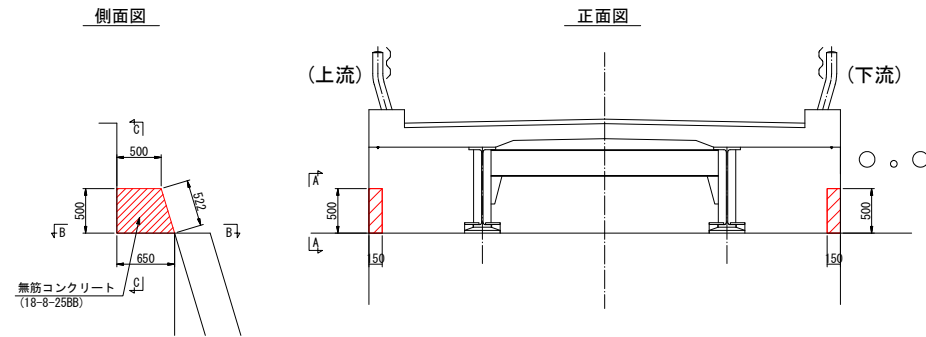
注記)
1. 現地再計測の後、施工を行うこと。

業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋 すり付け舗装工詳細図
縮 尺	図 示 図面番号 10葉之内 8
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事 務 所 名	海 津 市

風呂谷橋 土砂流入防止工詳細図

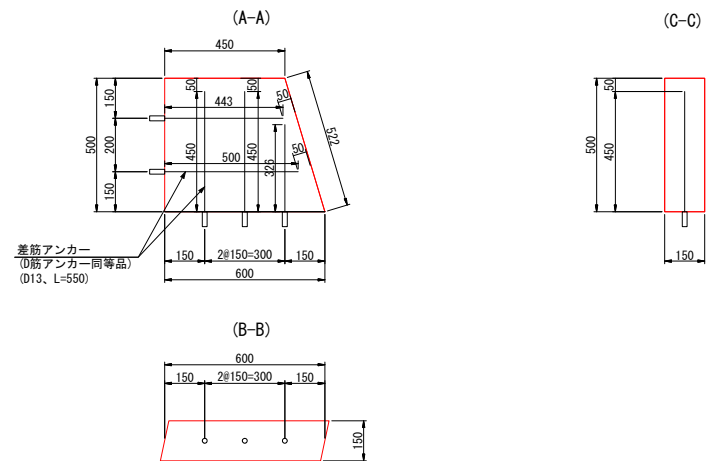
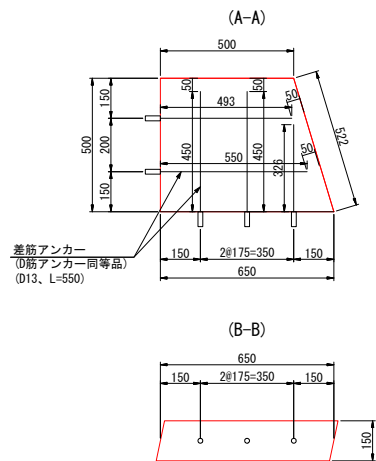
A1橋台側 S=1:30

A2橋台側 S=1:30



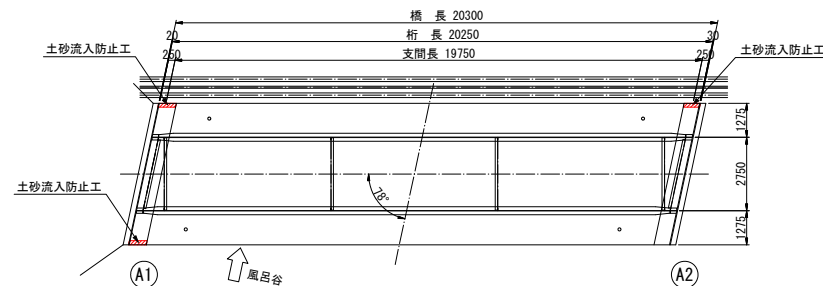
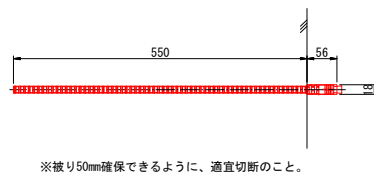
差筋アンカー配置図 S=1:10

差筋アンカー配置図 S=1:10



位置図 S=1:100

差筋アンカー詳細図 S=1:5
(D筋アンカー同等品)

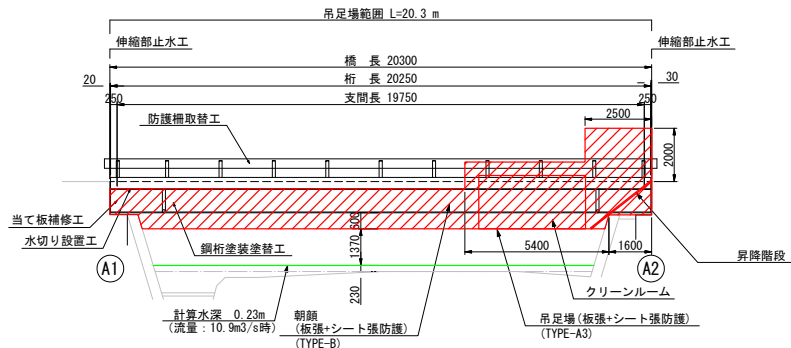


注記)
・現地再計測の上、施工のこと。

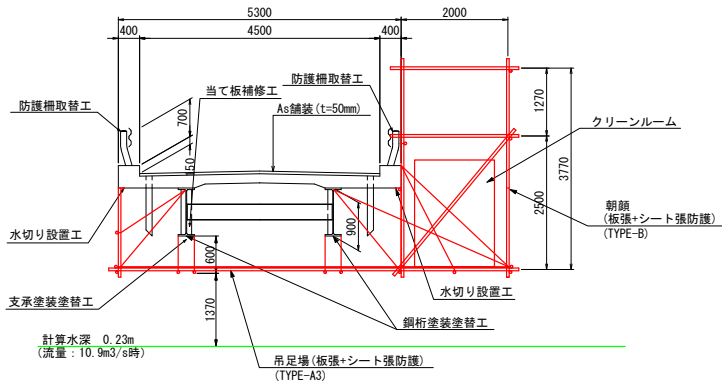
業務名/工事名	令和7年度 建工第43号 風呂谷橋補修工事
路線・河川名等	市道 海津33006号線
施工箇所名	海津市南濃町 津屋地内
図面の種類	風呂谷橋 土砂流入防止工詳細図
縮尺	図示 図面番号 10 業之内 9
会社名	(公財) 岐阜県建設研究センター
事務所名	海津市

風呂谷橋 足場図(案)

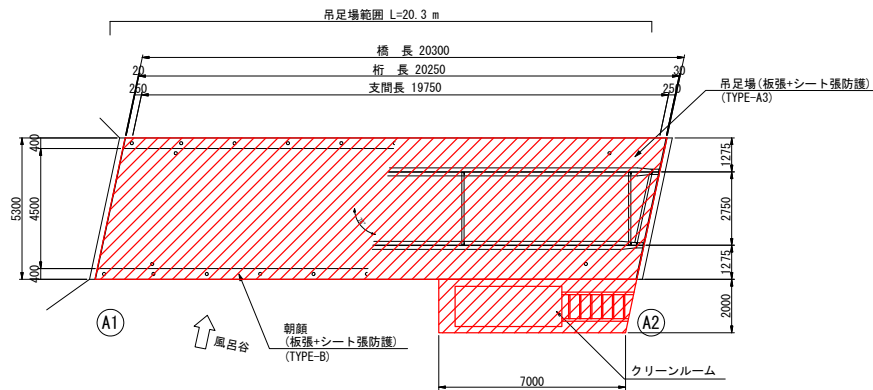
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



注記)

1. 本図は参考図とする。
2. 補修足場は、塗装塗替等の補修用として吊足場 (TYPE-A3)・朝顔 (TYPE-B) を基本とする。
※吊足場 (TYPE-A3)・朝顔 (TYPE-B) は、「橋梁架設工事の積算(一社)日本建設機械施工協会」の足場種類を示す。
3. 防護工は、低濃度PCBや鉛等に対する粉塵対策用とする。
4. 施工時には定期的に換気を行うこと。
5. 現地再計測の上、施工を行うこと。
6. 足場が激しい降雨等により影響を受けると判断される場合は、監督員と協議の上、足場を一旦撤去して、再設置するなどの対策を講じること。
7. 非出水期の施工を基本とする。

業務名/工事名	令和7年度 建第43号 風呂谷橋補修工事		
路線・河川名等	市道 海津33006号線		
施工箇所名	海津市南濃町大字津屋字河原中		
図面の種類	風呂谷橋 足場図(案)		
縮 尺	図 示	図面番号	10 葉之内 10
会 社 名	(公財) 岐阜県建設研究センター		
事 務 所 名	海 津 市		